

平成27年度 南魚沼郡市社会科部 活動報告

部長 川崎 英郎

1 研究主題

児童の意欲的な取組を促す支援のあり方
～南魚沼の地域素材を活かした授業づくり～

2 研究の概要

- 授業研究会をとおして、上記主題に迫る授業力の向上を図る。
- 地域巡検を実施して、地域素材を学ぶとともに、教材化の力量を高める。
本年度塩沢地域で実施（大和、六日町、塩沢、湯沢の全4地域持ち回り）

3 研究の実際

① 地域巡検 8月20日 塩沢地域

・「牧之記念館」見学

北越雪譜を著した鈴木牧之の記念館を見学し、学芸員から説明をいただいた。

出版に至るまでの苦心や、出版後の反響の大きさ、その他の業績を知ることができた。

その後、牧之通りを散策。

・青木酒造見学

地域の銘酒「鶴齢」の蔵元を見学、エアコンを活用した酒造りを見学した。

・苧麻畑見学・越後上布保存会会長さんの講話

栃窪小学校近くにある、越後上布の原料、苧麻の畑を見学した後、技術保存会会長中島清志さんから越後上布の現状についてお話を伺った。

② 授業研究会 10月28日 会場 北辰小学校

◇授業者 大桃 光貴 教諭

◇単元名 「わたしたちのくらしとつながるスーパーマーケット」

子どもたちは、身近なスーパーマーケットの見学を通してスーパーマーケットの野菜や果物が青果市場から来ることを知り、近くにある青果市場を見学に行った。そしてスーパーマーケットはなぜ青果市場を利用するのかを「品ぞろえ」「新鮮さ」「ねだん」の3つの観点から検討した。

4 成果と課題

巡検では、多くの参加を得られ、それぞれの見学場所で専門的な解説をしていただき、得がたい学びができた。

授業研究会では、青果市場にまで目を向けることで、自らの暮らしを見つめ追求していく姿を公開していただいた。貴重な提案となった。

